羽ばたくブロイラー新鶏種

コッブ500Mx ⑥

香川・琴南ファームを訪ねて

増体性に優れ、出荷日齢短縮

50日齢で3キログラム、FCR1.8が実力

「コッブ500Mxブロイラーは増体性が高く、出荷日齢を短縮できる。五十日齢で出荷体重三㌔、飼料要求率一・八の能力は確実に持っており、将来的には四十七、八日齢で三㌔、現在の五回転が五・五回転になり、飼料要求率も一・七台後半が可能になる」と自信に満ちた表情で話すのは㈲琴南ファーム（香川県仲多度郡まんのう町川東五一一―四八〇）の新谷芳政社長。

琴南ファームで生産されたブロイラーは、中四国の大手スーパー『マルナカ』の食品部長と三年前から導入し、奥さんと長男の直之さんの三人で管理、五回転で年間約五十万羽強のブロイラーを㈱香川県高松市の三栄プロイラー販売㈱に出荷している。

琴南ファームの写真とともに店頭に並ぶ。

鶏舎内設備は、給餌はパンフィーダー、給水はニップル、ヒーターは温風ヒーター（ブルーダー）で、すべてマルナカのPBブランド鶏肉「健（すこやか）21」として、琴南ファームの写真とともに店頭に並ぶ。

鶏舎内設備は、給餌はパンフィーダー、給水はニップル、ヒーターは温風ヒーター（ブルーダー）で、すべてマルナカのPBブランド鶏肉「健（すこやか）21」として、琴南ファームの写真とともに店頭に並ぶ。

換算で約十一台分、五千羽に一台の割合、鶏舎の側面は五十㌢立ち上がりで、カーテンは自動開閉システムを採用している。

飼料は、二十一日齢までの前期用がクランブルで、ME三千五十㌔㌍、CP二二％。それ以降の仕上げ用（無薬）がマッシュで、ME三千二百五十㌔㌍、CP一八％。

ワクチネーションは孵化場でIBD、MD、P

「コッブは苦労の分だけリターンも大きい」と語る新谷芳政社長

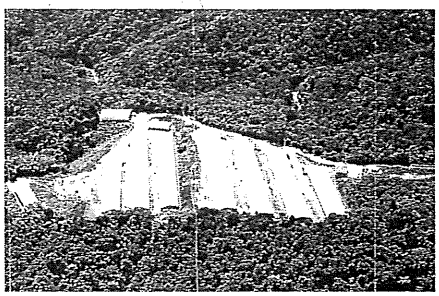
コッブ500Mxブロイラーは、まだ全体の出荷量の約二割にすぎないが、新谷社長は「温度管理をしっかりして飼いこなせば、苦労の分だけリターンも大きい」として、①え付け後二週齢までの温度管理、特に三日齢までの温度管理の重要性②三十五日齢までの温度管理と換気のバランス――などの飼育管理のポイントを教えていただいた。

OX。三～五日齢にコクシバックを練り餌で与え、以後、七日齢でND、十四日齢でIB、二十一日齢でNDとなっている。

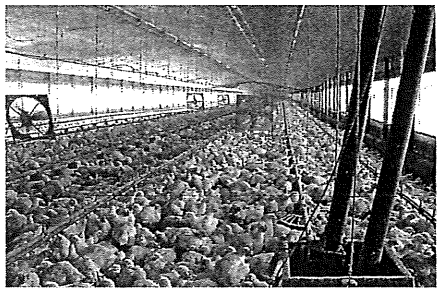
具体的には、え付けの二十四時間前から鶏舎内の予備加温を行なって三三～三二度Cにし、入雛三日間は三三～三二度C以下にしない。特に冬場は鶏舎の内側から目張りシートを貼り、舎内を保温用ビニールで仕切る。

入雛時はガードで囲い、ニップル下にクラフト紙を敷いて、あらかじめエサを半日分の六％撒いておく。え付け時から、ひなに直接風が当たらないように順送ファンの開閉で温度管理や換気、床面管理をしっかり行なっていく。

三月初めの訪問時の気温を聞くと、日中温度が舎内の温度や鶏の状態を見て、夏場は四日齢くらいからガードを拡張するが、冬場は三日齢くらいでガードを鶏舎の半分くらいまで広げ、十日齢くらいで保温用ビニールやガードを撤去する。三十五日齢くらいまでは、順送ファンの攪拌で温度をしっかり取り、カーテンのようにするかについて聞くと、種鶏孵化場の勤務歴など、「鶏を知り尽くした新谷社長からは、「鶏が一番エサを食べるのは朝と夕暮れ時。その時は鶏も一番活動する時間で、我々もそれに付き合ってやらないと」とか、「夕方、電気がついた時の鶏の広がり方と、日中の自然の明るさでの鶏の広がり方は違う。温度設定は日齢に応じ、朝晩の設定を変えている」「舎内の真ん中を歩いて見回ると、あまり動かない鶏でも左右の給餌、給水器のところに広がってエサと水を飲みにいくようになる。温度が低いと鶏は動かなくなり、エサを食べなくなるので、食べさせるためにも鶏を動かす必要がある」などのノウハウがポンポンと飛び出す。



琴南ファームの全景



出荷直前のコッブ500M×ブロイラー

夜については、「夜間の照度は一ルクスくらいの真っ暗にし、八時から九時に一回、寝る前の十一時半から十二時に一回、舎内の温度の状態やカーテンのずれ、鶏の状態などをチェックする」とのこと。

上表は、琴南ファームの過去三年間の冬場のコッブ500Mxブロイラーの成績を比較したものだが、非常に安定した成績を示している。

新谷社長は、「鶏種の差はいろいろ言われるが、問題は飼い方。温度管理がしっかりできた鶏の成績は、どの鶏種に限らず良い」とし、特に、増体の良さで注目しているコッブ500Mxブロイラーについては、「将来的には四十七、八日齢出荷で体重三㌔、五・五回転、飼料要求率一・七台後半」の達成に強い自信を持っていることが感じられた。

（つづく）

コッブ500Mxブロイラー　冬場の出荷成績

	平成20年	21年	22年
入雛日	11月1日	1月4日	1月6日
出荷日	12月20日	2月23日	2月22日
入雛羽数	10,000	9,300	11,000
出荷日齢	49.0	50.0	47.0
育成率	101.0	98.2	99.1
平均体重(g)	2,992	3,151	2,940
飼料要求率	1.837	1.843	1.85
DG(g)	61.06	63.02	62.55
PS	335.6	335.7	334.91